

## 愛知県における標準化事業への取り組み

～医療法一部改正に伴う参加施設の変化～

◎森部 龍一<sup>1)</sup>、岡本 明紘<sup>2)</sup>、窄中 美帆<sup>2)</sup>、齊藤 翠<sup>2)</sup>、菊地 良介<sup>2)</sup>、岡田 元<sup>2)</sup>、中根 生弥<sup>2)</sup>  
愛知医科大学病院<sup>1)</sup>、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会<sup>2)</sup>

### 【はじめに】

平成 30 年度国会において検体検査の品質・精度管理の基準を明確化するための改正医療法、改正臨床検査技師法が成立し、同年 12 月 1 日より法律が施行された。同法律には外部精度管理への参加が努力義務として記されており、そのためクリニック等の外部精度管理への関心が高まってきている。今回我々は、平成 29 年度からの愛知県臨床検査精度管理調査（愛臨技サーベイ）への参加施設の変化について確認するとともに、大規模サーベイの 1 つである日臨技精度管理調査（日臨技サーベイ）との間で参加施設に違いが認められるか確認を行った。

### 【対象】

平成 29 年度および平成 30 年度に実施した愛臨技サーベイに参加した施設を対象とし、JAMTQC を用い病床数別にデータを集計した。また日臨技サーベイについては、平成 29 年度の参加施設より愛知県内の施設を抽出し、病床区分を分類した。

### 【結果】

平成 29 年度および平成 30 年度の愛臨技サーベイの参加施設はそれぞれ 136 施設および 141 施設であった。病床数別にみると平成 29 年度および平成 30 年度の参加施設はそれぞれ、0 床が 27 施設および 28 施設、1～19 床が 11 施設および 10 施設、20～99 床が 14 施設および 15 施設、100～199 床が 29 施設および 30 施設、200～299 床が 10 施設および 11 施設、300～499 床が 20 施設および 21 施設、500～699 床が 16 施設および 17 施設、700～999 床が 6 施設および 6 施設、1000 以上が 3 施設および 3 施設であった。また、日臨技サーベイ

と比較してみると、愛臨技サーベイに参加している施設のうち、日臨技サーベイにも参加している施設は 67.2%であり、32.8%とおよそ 3 分の 1 の施設は、愛臨技サーベイのみの参加であった。日臨技サーベイでは無床施設の参加が比較的多く、それらは大規模検査センターが多くを占めている一方、愛臨技サーベイはクリニックの参加を多く認めた。また、愛臨技サーベイのみ参加している施設の多くは 300 床以下の中～小規模施設であった

### 【考察およびまとめ】

今回、日臨技サーベイと参加施設の比較を行った結果、どちらか一方に参加している施設が、それぞれ 3 分の 1 程度を占めていた。愛臨技サーベイについては、平成 29 年度および平成 30 年度について、病床数別ではほぼ同じ結果となった。愛臨技サーベイは例年 6 月に申し込みを開始しており、外部サーベイへの参加は努力義務であったため、ほぼ同じ結果になったと考える。また、全体の 67%が 300 床以下の小～中規模病院であり、技師がならず看護師がサーベイ試料を測定する施設からの参加もあった。2019 年度は法改正後、最初の愛臨技サーベイとなるため、当日は 2019 年度の結果も併せて報告する。

連絡先：0561-62-3311